



大竹さんのトウモロコシ



小学生の頃から戦力として家の農業に携わってきた大竹さん。自然や山が大好きです。



「本当に美味しい収穫適期は3日ぐらいだな」と、実の入り具合を確かめながら出荷しています。



「甘いだけでなく、穀物の味がして美味しいよな」と大竹さんも太鼓判の「ゴールドラッシュ」です。

★わずか3日の収穫適期を逃さず

先週のトマトに続き、大竹さんのトウモロコシの出荷が始まりました。トウモロコシは必ず虫が付く野菜で、一般的には「無農薬栽培は無理」と思われています。しかし、まだ寒い3月上旬からトウモロコシで保温した畝に種を蒔き、初期生育を促す事で、虫が出ない今の時期に出荷を出来るようにしているのです。

また、トウモロコシは虫だけでなく獣も大好き。「ハクビシツが全部かじっちゃって出荷が出来なくなっちゃった事もあったな。アウグマが家まで来たこともあるぞ」と言うほど、大竹家の周りではトウモロコシを狙う獣がいっぱい。その対策として、昔は夜、車のライトで照らして見張った事もあったそうですが、今は電柵を張り巡らし侵入を防いでいます。ただ「風が吹いてトウモロコシが倒れると、そこから漏電しちゃう事もあるんだ」と、見回りも欠かしません。

そして何よりトマトの収穫だけで毎日夜遅くまでかかっているこの時期に、トウモロコシの収穫が重なると、もう朝から番まで働き通しです。さらに7月に入って暑くなってくると虫がつき始めます。「今は良いけど、この後、虫がついてくるから、その選別が大変なんだよ。まあ対策は無いからな」と、1つ1つ手間をかけて出荷していきます。そんな大竹さんのトウモロコシは「ゴールドラッシュ」という品種で、とても甘くて旨味もあります。その収穫適期はわずか3日。一番美味しい時期を逃さないよう実の入りを確認しながら出荷します。貴重な無農薬栽培の大竹さんのトウモロコシ、誰が食べても納得の味ですよ。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎トウモロコシは7月10日頃までの出荷予定です。